

朝鮮の近代と日本による植民地支配

日程変更
しました

5月9日～6月27日（毎週土曜・全8回） 18:00～20:00

会場：東京労働会館・中会議室（地階）

会費：教室受講 12,000円（聴講一回2,000円、ネット動画受講9,000円）



講師：糟谷憲一
一橋大学名誉教授
朝鮮近代史

現在、日本と韓国、朝鮮民主主義人民共和国との関係は良好とはいえません。その一因には日本では朝鮮の歴史、とくに近現代史についてよく知られていないことがあります。この講座では江華島事件に始まる近代日本国家の朝鮮侵略と「韓国併合」以降の植民地支配の歴史について学びます。

【参考図書】『朝鮮の近代』（山川出版社、1996年、729円＋税）
『朝鮮現代史』（共著、山川出版社、2016年、3,500円＋税）

第1回 5月9日

前近代の朝鮮 — 古代から朝鮮王朝までの概観 —

序論として、近代を迎える前までの朝鮮の歴史について、神功皇后の「三韓征伐」神話、豊臣秀吉の朝鮮侵略など、その要点を説明します。

第2回 5月16日

朝鮮の開国と開化

19世紀後半、東アジアの変動に朝鮮はどのように対応したのか。江華島事件（1875）から東学農民の蜂起までの時期について学びます。

第3回 5月23日

独立と従属の分かれ道

独立がしだいに脅かされるなか、独立維持の努力が重ねられた日清戦争期から日露戦争直前までの時期について学びます。

第4回 5月30日

朝鮮の植民地化

日露戦争下の軍事支配に始まって1910年の「韓国併合」まで、日本が朝鮮を植民地化する過程について学びます。

第5回 6月6日

武断政治の時代と三・一独立運動

1910年代における武力を前面に出した植民地支配と全民族的な抵抗に発展した三・一独立運動について学びます。

第6回 6月13日

「文化政治」と農村振興運動の時代

1920年代から30年代前半における新たな方式をとった植民地支配の実態、朝鮮民衆のこうむった困難について学びます。

第7回 6月20日

民族運動・社会運動の発展 — 1920～30年代 —

この時期の民族運動・社会運動の発展について概観し、その歴史的意義を考えます。

第8回 6月27日

戦争への動員の時代

1937年以後、侵略戦争遂行のために朝鮮人を強制的に動員した時代、「皇国臣民化」政策の時代について学びます。

【申込み先】東京学習会議 メール：gakusyukaigi@gmail.com 電話：03-5842-5646 FAX：03-5842-5647

2020年 東京労働学校 第138期「日朝近現代史講座」 受講申込書

氏名				男・女	年齢	才
住所	〒					
電話	携帯：		自宅：			
メール						
団体名						

※ネット動画受講は東京学習会議のwebサイトからお申込みください

